



# 電飾金魚手に白壁火の用心

## 古市金屋地区 26年目、住民や中学生らが参加 年末夜回り

柳井市白壁の町並みを守る会(木阪泰之会長は12月27、28日深夜市内古市金屋地区の白壁通りなどで、毎年恒例の「年末夜回り」を実施。地元住民や柳井中の生徒など、2日間でのべ30人が参加し、拍子木を打ち鳴らしながら、電飾金魚ちようちんを手に、「火の用心」を連呼した。金屋自治会(山近俊爾会長)と共同開催。

国選定の重要伝統的建造物群保存地区として、先祖から受け継いだ貴重な歴史的遺産を守ることも、住民の防火・防犯意識の高揚に努めようと、1999年(平成11年)から実施しているもので、今年で26回目を迎えた。夜回りは、前年同様に2日間開催とした。初日の27日は、地元商店主や柳井中の生徒など、約15人が参加。午後8時からの出陣式で、木阪会長が「今日は、中学生のみなさんに参加してもらい感謝している。今日は、しっかりと大きな声で火の用心を訴えてほしい」と呼びかけた後、「火の用心、エイエイ、オー」の掛け声を合図に夜回りへと出発。

白壁通りにある皿田邸を本部に、白壁の町



発行所 柳井市金屋 436 〒742-00  
 (株)柳井日日新聞  
 編集発行人 友座  
 電話 0820-22-07  
 FAX 0820-22-27  
 購読料 1ヶ月1,512  
 (郵送 1,620円)  
 振替口座01550-3-0054  
 「火・木・土曜日発行」

柳井市白壁の町並みを守る会(木阪泰之会長は12月27、28日深夜市内古市金屋地区の白壁通りなどで、毎年恒例の「年末夜回り」を実施。地元住民や柳井中の生徒など、2日間でのべ30人が参加し、拍子木を打ち鳴らしながら、電飾金魚ちようちんを手に、「火の用心」を連呼した。金屋自治会(山近俊爾会長)と共同開催。

並み周辺と、ひろやの園周辺の2コースに分かれ、参加者たちはLED電球を灯した手提げ金魚ちようちんを手に、拍子木を打ち鳴らし、「火の用心、マッチ一本、火事の元」「気をつけて、火事はあなたの 気のゆるみ」などと連呼しながら地区内約600メートルのコースを歩いて防火を呼びかけた。今回の夜回りには、昨年同様、体験を希望した柳井中生徒17人(13年)がボランティア活動の一環として参加し、住民と一緒に火の用心を呼びかけながら、白壁の町並み周辺を巡回した。

(写真左は白壁の町並みであった初日27日の出陣式で掛け声をかける住民や中学生たち。右は金魚ちようちんを手に白壁の町並みを歩く参加者たち)



柳井駅前 柳井自治会(石田博一行)は26、27日夜、柳井駅前周辺で恒例の年末夜警を



柳井市人口・世帯 (12月末現在)  
 ●世帯数 15,167 (一)

# 与えられた 《おかげのいのち》を 生ききる

誓光寺住職 村上 智仁

昨年、元日に能登半島地震が発生し、記録的猛暑に豪雨被害も頻発した1年でした。そして今年の1月17日は、阪神淡路大震災から30年の節目の日です。

★「あたりまえが 幸せに変わった」  
ある小学生の詩

その阪神淡路大震災のとき、小学校5年生だった女の子の「あたりまえのことが」という詩に出会いました。食べられること、ねむれること、学校へ行けること、友達と遊べること、家族で話せること、大人が仕事をすること、健康で安心なこと……あたりまえだった

術後も最悪のことを覚悟する状態が続くか、「今日も生きてたい」「今日も起きたよ」と、母親にメッセージを連日送っていたといふ、「病気を経て、日常の有り難さみたいなものを感じ、人生が豊かになった」と思っています」と、しみじみと話されました。

そして、現在の正直な思いも吐露されます。「退院して普通に過ごせるようになった今、日常に感謝できているかという、慣れてしまっている自分がいる。日常は(当たり前)ではなく、有り難いもの」と頭でわかっているが、気がつけば明日があることが当然のように生きている」と、自省されるすがたがありました。

人間は忘れる生き物です。古典的研究「忘却曲線」などで示されるように、記憶は直後に急激に失われ、だんだんと緩やかに減衰していきま。だからこそ、肝要なこと、忘れ

それが幸せに変わった。平成7年1月17日、阪神大震災が私に残したこと。何ごとも「あたりまえ、あたりまえ」と過ごしていた日々。それが大きな地震に遭い、あらゆるものが「よるこびであったんだ」「幸せなことであつたんだ」とあらためて気づかされた思いを表しておられます。

★時とともに 慣れてしまふ相手をある俳優の言葉

ある20代の俳優が、病中・病後の心情を語られた場面に出会いました。体調が悪く、診察を受けたその日に重い疾患が判明し、即手術。

「生死一如」は、紙の表と裏に一つの関係が教えられます。てはならぬことを確認しているが大事になりキ

「生死一如 (じようじい) 紙の表裏のよ